

外国人客と店員 意思疎通容易に

情報端末介し通訳

ライバル店も接遇工夫

札幌丸井三越

札幌丸井三越（札幌）は13日、外国人客と店員が、テレビ電話でつながった通訳を介して意思疎通できるタブレット端末を道内の百貨店で初めて導入した。夏の観光シーズンに向け、利便性を高めて外国人客を呼び込む狙い。ライバル店も売り場に通訳を常駐させたり、中国語や韓国語などの会話例を記した一覧表を置いたりするなど知恵を絞っている。

タブレット端末は札幌三越と丸井今井札幌本店に計5台導入し、外国人客の来店が多い化粧品や宝飾品の売り場に置いた。サービス開始に当たって、5カ国語の通訳を抱える東京の情報通信会社と契約を結んでおり、端末を使うと、画面上にこれらの通訳が呼び出され、買い物客と店員が意思疎通できる仕組みだ。

単純な買い物であれば簡単な英語や身ぶり手ぶりで対応できるが、化粧品の効果や宝飾品の種類などを込み入った話になると意思疎通が難しいことから導入を決めた。札幌丸井三越の担当者は「売り場の状況やお互いの表情が分かないので誤解が生まれにくい」といい、

好評なら台数を増やす考えだ。札幌三越でタブレット端末を使った中国・上海の会社員、蔡国森さん（41）は

「何を買おうか探しているときに言葉が通じると便利だ」と話した。

増える外国人客向けのサービス向上には、百貨店各店とも力を入れている。大丸札幌店は昨年10月に中国

語の話せる案内係2人を店内に配置し、繁忙期に入つた今年7月からは3人に増えた。札幌パルコも昨春から、買い物客が売り場の電話で英語や中国語、韓国語の通訳と話せるサービスを実施した。

札幌パルコも昨春から、買い物客が売り場の電話で

英語や中国語、韓国語の通

訳と話せるサービスを実

施。また、これらの言語にタイ語を加えた4カ国語について、色の単語や会計時の会話例などを紹介した一覧表を作成して全テナントに配り、外国人客が指でしながら意思表示できるようしている。



札幌三越で導入されたタブレット端末を使う外国人客。画面の向こうの通訳を介して、意思疎通できる

鉱工業指数4%減

5月道内 人手不足、資材高騰響く

る」から「一部に弱い動き」に引き下がった。下方修正は6カ月ぶり。人手不足や資材高騰による建設工事の遅れなどが響いた。

16業種のうち13業種で生産を合わせた販売額は前年

1月から「一部に弱い動き」に引き下がった。下方修正は6カ月ぶり。人手不足や資材高騰による建設工事の遅れなどが響いた。

項目別では、富裕層の購買意欲回復で宝飾品や高級時計の売れ行きが好調。好み帽子やスニーカーもよく売れた。専門量販店販売動

率を合わせた販売額は前年

万円で、08年

報酬1億円以上

上場企業役員 業績改善

道内代位

東京商工リサーチは13日、2015年3月期決算の上場企業で1億円以上の報酬を受け取った役員数が411人となり、開示が義務付けられた10年3月期以降で最多になったと発表した。これまでの最高は14年3月期の361人。景気回復に伴う企業の業績改善が背景にある。

オリックスの宮内義彦元会長の報酬は役員退職慰労金を含めて54億7千万円となり、過去最高額だった。2位はパチンコ製造大手、三井の毒島秀行会長の21億

原（函館）は13日、来年12月にも持ち株会社制に移行することを明らかにした。事業別に子会社を6、7社

北海道信用金庫が同協会が倒産になると、倒産なくなりた中

【函館】流通、木材、住宅、不動産業などをグループで展開するティー・オーフ・小笠原（函館）は13日、来年12月にも持ち株会社制に移行することを明らかにした。事業別に子会社を6、7社

北海道信用金庫が同協会が倒産になると、倒産なくなりた中

来年12月にも持

持株会社制に

持株会社制に

持株会社制に

持株会社制に